

☆masaki

学校教育目標 「自らの良さを認め 共に伸びる生徒の育成」
校 訓 「真面目にします 仲よく協力します よい言葉を使います」

元気いっぱい！松中生の活躍

令和5年度伊予地区総合体育大会で松前中学校は、5種目で準優勝の成果を上げました。更に個人での県大会出場は、15名となりました。



- < 団体準優勝 >
- ☆ 軟式野球部
 - ☆ 男子バスケットボール部
 - ☆ サッカー部
 - ☆ 男子ソフトテニス部
 - ☆ バドミントン部(県総体出場)



個人では、以下の選手が県大会に出場します。

<ソフトテニス男子>

黒田 知宏、岡田 蒼大	第3位
吉田 京生、兵頭 楽飛	第3位

<バドミントン女子個人ダブルス>

石井 心笑、白石 楓香	第2位
高田 悠彩、木村 空晴	第3位
平塚 美羽、秦 愛音	第4位

<柔道>

國松 疾風	第1位
-------	-----

<水泳競技>

小松 久人	50m自由形	第1位
	100mバタフライ	第3位

<陸上>

福岡 遼	男子1年100m	第2位
鈴木 颯	男子2年100m	第1位
大野 琉貴	女子共通800m	第3位
	女子3年1500m	第3位

個人戦は、合計15名が県大会に出場します。全員の健闘を祈ります。

次のステージへ歩み出そう！

勝利を収めた部だけではなく、全ての部が勝利を目指して苦しい練習に耐えてきました。残念ながら試合に敗れた選手のみならず、本当にお疲れさまでした。試合に敗れたことはとても悔しいことです。しかし、辛い時、悔しい時、悲しい時、その時を乗り越えたという自信が、これからの人生のここ一番という場面で、自分を支えてくれる大きな自信になるはずです。涙の後で、これから自分のなすべきことを考えて、行動できる松前中生こそ、3年間の部活動の「勝利者」です。

今年3月に行われたワールドベースボールクラシックで、優勝の歓喜に沸いた日本。大谷翔平、山田哲人、ダルビッシュ有が撮った記念写真の後ろに並べられた「靴」が話題になりました。そのまま履いて出られる向きにきちんと並べられて、全く乱れていなかったのです。その他にも、ベンチの清掃、整理整頓、ごみ拾いなどを率先して行う日本人選手に世界中から感嘆の声が漏れていました。力を尽くし、礼を尽くし、心を尽くした姿は、国や言葉、文化を越えた「すばらしい普遍的な価値」です。

「勝っておごることなく、負けに負けることなく」それぞれの次のステージへ胸を張って歩み出すことを願っています。

